

令和3年9月29日
藤沢市空手道連盟事務局

「藤沢市民総合体育大会継承大会 第52回藤沢市空手道選手権大会」開催要綱及び細則

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本連盟の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「藤沢市民総合体育大会継承大会 第52回藤沢市空手道選手権大会」を下記の通り開催致しますので、ご案内申し上げます。

また、開催に先立ち、後述内容にて代表者会議を行いますので、ご参集頂けますようお願い致します。

敬具

記

【大会要綱】

1. 大会名

藤沢市民総合体育大会継承大会 第52回藤沢市空手道選手権大会

2. 主催

藤沢市教育委員会 藤沢市体育協会

3. 開催時期

令和4年1月10日（月・祝）午前9：00集合、午前9：30開会。

※ 午前8：30体育館開館、役員は午前8：30集合、招待審判の方は午前9：00集合。

選手・役員の密を防ぐ為、参加人数に応じて種目・学年・男女ごとの入れ替え制を取り入れることがあります。また、観客、付き添いなどについては大幅に制限、禁止を行うことがあります。

但し、新型コロナウイルス感染拡大などにより大会を中止することがある。

代表者会議までには決定し、参加者、関係者に通知いたします。

4. 会場

秩父宮記念体育館メインアリーナ 練習場所 サブアリーナ

藤沢市鵠沼東8番2号 TEL. 0466-22-5335 FAX. 0466-28-5749

5. 大会参加資格

以下のいずれかに該当する方、

以下の該当者以外を含むエキシビションに参加する障がい者、

藤沢市在住、在勤、在学、在道場

6. 大会役員

大会名誉委員長	木村 英勇
大会委員長	滝内 洋子
大会副委員長	木村 研治・灰野 辰男・山崎 和範
大会顧問（順不同）	鈴木 恒夫・市川 文一・藤井 裕久・井上 裕介 杉山 保・滝内 一夫・鬼沢 義行・坂尻 茂・山下 普士
大会実行委員長	山門 誉宗
大会副実行委員長	関野 治夫・武蔵 辰也・荒木 慎太郎
大会監査長	山崎 和範
大会審判長	木村 研治
大会副審判長	木村 久乃・小屋敷 律子
大会事務局長	内村 功一
大会事務局次長	関野 治夫・荒木 慎太郎
大会事務局員	平本 吉央・木村 江里・中川 貴義・榮 久美子
大会実行委員	板垣 紀恵・徳田 平十郎・宮國 淳・尾上 義和 荒川 章・山口 聡・大畠 夏世 小林 志光・須山 利恵・中塚 剛壽

7. 競技方法及び種別

- ・全日本空手道連盟組手競技規定及び同形競技規定に準ずる。
- ・障がい者によるエキシビションの部を、内容をフリーとして設置する。
- ・各種目を実施する最低人数は、4名とする。
- ・幼年、小学1・2年生の選手は、背中に姓名をひらがなで書いた縦10cm横20cmの白布を縫いつけて（または同等のものを付けて）参加するものとする。
- ・シニアの部は、男子40歳以上、女子35歳以上とし一般の部と重複の参加は出来ない事とする。（但し、規定人数に満たない場合は、有段・有級に振り分けることがある。また、試合当日に該当年齢であれば良いとする。）
- ・団体戦は行わない。

(1) 形の部

- ・フラッグ制とする。
- ・二人同時演武とする。赤青の順で形の呼称をし、主審の短笛の後に演部を開始する。但し、決勝のみ一人演武として、主審の短笛は省略する。
- ・形の全ての試合は、礼は斜め入りとする。
- ・競技内容は以下の通りとする。但し、中学生以上の種目で、登録人数が4名未満であった場合は、男・女を1種目にまとめる。
(例えば、中学生女子の登録者数が3名で男子が5名の場合は、8名を中学生男・女として1種目とする。)

NO.	種目	制限
1	幼年男子	ピンソ、ヘイソ、ゲキソ、タキョ、ナイフチ、テッキ（以下、「基本形」と言う。）を繰り返しても良い。但し、準々決勝以降は、それより前の形以外の基本形又は（公財）全日本空手道連盟第一若しくは第二指定形（以下「指定形」と言う。）に <u>変更しても良い</u> 。
2	幼年女子	〃
3	小学1年生男子	〃
4	小学1年生女子	〃
5	小学2年生男子	〃
6	小学2年生女子	〃
7	小学3年生男子	基本形を繰り返してもよい。但し、準々決勝以降は、それより前の形以外の基本形又は指定形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、準々決勝から決勝まで同じ形でも良い。
8	小学3年生女子	〃
9	小学4年生男子	〃
10	小学4年生女子	〃
11	小学5年生男子	〃
12	小学5年生女子	〃
13	小学6年生男子	〃
14	小学6年生女子	〃
15	中学生男子	基本形又は指定形を繰り返しても良い。但し、準々決勝以降はそれより前の形以外の基本形、指定形又は他の自由形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、準々決勝から決勝は同じ形でも良い。
16	中学生女子	〃
17	一般有級男子	〃
18	一般有級女子	〃
19	一般有段男子	指定形を繰り返しても良い。但し、準々決勝以降はそれより前の形以外の指定形又は他の自由形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、準々決勝から決勝は同じ形でも良い。
20	一般有段女子	〃
21	シニア（40歳以上）男子	基本形又は指定形を繰り返しても良い。但し、準々決勝以降はそれより前の形以外の基本形、指定形又は他の自由形に <u>変更しなくてはならない</u> 。なお、準々決勝から決勝は同じ形でも良い。
22	シニア（35歳以上）女子	〃

(2) 組手の部

- ・トーナメント制で全てフルタイムとする。
- ・登録人数が4名未満であった場合は、当該種目は実施しないこととする。その際には、パンフレット上は、競技名の下に「実施しません。」と表記し種目として予定していたことを示すこととする。
- ・用具の貸し借りは禁止とする。但し、赤、青帯については、選手が持っていない場合は市連が用意した帯を消毒したうえで使用できるものとする。（代表者会議時に判断）
- ・安全具については以下の通りとする。

全 般	・県大会及び錬成大会に準ずるものとする。
拳サポーター	・全員が着用。 ・全空連認定品に限る。 ・赤、青の他、白を認める。 ・青（赤）の選手が赤（青）の拳サポーターを着用すること（反対の色）は認めない。
ボディープロテクター	・一般有段男子は除き全員が着用。（一般有段男子は任意） ・着用は内着が望ましいが外着も可とする。
メンホー	・全員が着用。 ・全空連認定品に限る。 ・バージョン5以上が望ましい。
セーフティーカップ	・中学生以上の男子は着用。 ・小学3年生以上の男子は着用が望ましい。 ・着用は内着とする。
インステップ及びシンガード	・中学生以上は着用。 ・小学生以下は着用が望ましい。
マウスピース	・着用は任意とする。

- ・競技内容は以下の通りとする。

NO.	種目	競技時間	勝負
1	幼年男子	1分	6ポイント先取にて勝敗を決定
2	幼年女子	〃	〃
3	小学1年生男子	1分30秒	〃
4	小学1年生女子	〃	〃
5	小学2年生男子	〃	〃
6	小学2年生女子	〃	〃
7	小学3年生男子	〃	〃
8	小学3年生女子	〃	〃
9	小学4年生男子	〃	〃
10	小学4年生女子	〃	〃
11	小学5年生男子	〃	〃
12	小学5年生女子	〃	〃
13	小学6年生男子	〃	〃
14	小学6年生女子	〃	〃
15	中学生男子	〃	〃

16	中学生女子	〃	〃
17	一般有級（高校生以上）女子	〃	〃
18	一般有段（高校生以上）女子	〃	〃
19	一般有級（高校生以上）男子	〃	〃
20	一般有段（高校生以上）男子	〃	〃
21	シニア（40歳以上）男子	〃	〃
22	シニア（35歳以上）女子	〃	〃

（注）競技時間は、選手の参加状況により、大会当日までに変更することもある。

8. 表彰

- ・優勝、準優勝、第三位にメダルまたはトロフィー及び賞状、第五位に賞状を授与する。
- ・形・組手ともに三位決勝は行わず第三位を2名とする。
- ・形・組手ともに1種目の登録者が100名以上の場合は、16位までに第五位を授与する。登録者数が4名の場合は優勝のみとし、5名～8名の場合は、優勝、準優勝のみとする。登録者数が9名～16名の場合は、優勝、準優勝及び第三位（2名）とし、17名～99名では、更に第五位を授与することとする。
- ・敢闘賞は第五位とし、各表記も第五位とする。
- ・エキシビションに参加した障がい者には、全員に賞状を付与する。

9. コロナ禍における措置

- ・開会式は簡素化し、閉会式は行わない。（各競技終了した選手は速やかに退館の事）
- ・アリーナ内には、選手・役員以外の立入りは禁止とする。幼年・低学年選手のフォローとして補助役員を増員する必要がある。補助役員には腕章を着けてもらい一般の方との区別ができるようにする。
- ・練習会場（サブアリーナ）は、密にならないよう役員を数名配置して管理する。
- ・観客席への入場においては1家族1名（補助役員は別）又は競技団体で数名を割り当てる等の形で制限する。またコロナウイルス感染状況や出場選手数によっては、無観客となることもありうる。代表者会議において、最終的に判断する。

10. その他

- ・アリーナ内での撮影は禁止とする。（市連から依頼した撮影は除く。その場合は腕章を着けてもらう）

【大会細則】

1. 申し込み

（1）申し込み方法

- ・申し込み書類（別紙「参加申込書」「参加メンバー表（形）」「参加メンバー表（組手）」）に記入例に従い必要事項を記入し、下記の締切日までに、申込み送付先に申し込み書類のファイルを添付してメールで申し込む。また、参加費と団体会費は、下記の締切日までに、振込み先に振り込む（非会員の参加費は大会当日に現金にて支払う）。締切日までに、上記書類の提出がなかった場合は、不参加と見なし、締切日以降の参加は認めないものとする。
- ・会員の参加費は、参加1種目1人2,000円とする。
- ・非会員の参加費は、参加1種目1人3,000円とする。（事務局（内村先生）より広報で事前通知する。）

- ・団体会費（藤沢市空手道連盟の団体会費であり、本大会の会費ではないが、集金の手続きを合理化する為に、この機会に集金する）は、1団体10,000円とする。

(2) 締切日

申込み書類の締切日 令和3年12月2日（木）メールにて必着

※申込み書類は、令和3年10月28日（木）に、各団体に発送する。

※締切日までに到着しなかった申込みは受付けないものとする。

※今回の市民大会は、コロナ禍で開催の最終決定が参加締め切り後になり、万が一中止の時に、集金・返金等の手間が負担となる可能性があるため、参加費・団体会費の支払い方法および期限を以下のとおりとする。

- ・会員（藤沢市連加盟団体）については、大会後1週間以内（1月17日まで）に振り込み先に振り込む
- ・非会員については、大会当日に現金にて支払う

(3) 申込み送付先

〒247-0072 神奈川県鎌倉市岡本2-13-18 富士ソフト企画株式会社内 市民総体空手道係宛

karate-fj@fsk-inc.co.jp

(4) 振込み先

横浜銀行 湘南台支店（普） 6111802 藤沢市空手道連盟

※広報による一般からの参加者は大会当日に現金にて集金するものとする。

2. 代表者会議

日時 令和3年12月19日（日）13:00～15:00

出席者各競技団体の代表者1名以上

※当日の試合（案）について決裁を行うので、参加団体の代表者1名以上が参加するものとする。

代表者会議に不参加の（開始時刻に出席が無い）場合は、参加者に無条件に協議ならびに決裁を委任したものと見なす。また、送付された書類の内容の変更は、一切受付けないものとする。

会場 秩父宮記念体育館 会議室（詳細は後日連絡）

藤沢市鵠沼東8番2号 TEL. 0466-22-5335 FAX. 0466-28-5749

内容 (1) 要綱の説明及び競技ルールの徹底

(2) 競技用具の員数チェック結果の確認

(3) 各団体からの審判員の確定と招待審判員の最終手配

(4) 組合せの修正

(5) 競技組合せの決裁

(6) 領収書の発行注意事項

(7) 各団体は、代表者会議前に事務局より各団体に送られた組合せ表（案）の内容を確認し、不備や不足、誤り等があればそれに朱記訂正したものを代表者会議に持参すること。

(8) 選手の名前が誤っている場合は、その通り賞状が印刷されるものとし、確認を徹底する。

(9) 代表者会議に欠席する場合で、組合せに訂正がある団体は、前述の朱記訂正した組合せ表（案）を、代表者会議に付議できるよう代表者会議前日9:00迄に事務局（下記問い合わせ先）にメールにて連絡すること。

fujisawa.karate.federation@gmail.com

(10) 競技用具を保管している団体は、用具入れに同梱してあるチェック表で、員数チェックを行い、代表者会議に持参すること。（代表者会議にて最終的な員数確認を行う。）

3. 問い合わせ先

〒251-0004 藤沢市藤が岡 3-10-8

藤沢市空手道連盟理事長 大会実行委員長 山門 誉宗 TEL : 0466-47-3738

4. 役員重点業務分掌

- (1) 大会委員長は、大会開催通知をより公式化する為、大会委員長名で「大会開催通知」を加盟団体に（事務局よりメールにて）事前通知する。また、当該通知に「大会要綱」と「大会細則」を添付することとする。
- (2) 大会実行委員長は大会の進行、大会審判長は試合及び試合結果について責任を担うものとする。
- (3) 具体的な役員の重点業務分掌は以下の通りとする。

①大会実行委員長の重点業務分掌

- ・ 組合せ・時程表及びコート設営図の外注団体組手が概ね6チーム以上の場合は、効率的に大会進行をさせる為に、2コートに分けることとする。2コートに跨り実施される競技の決勝戦は、効率的に大会進行をさせる為に「遅いコート」で実施することとする。
- ・ 組合せ・時程表及びコート設営図の決裁
- ・ 競技用具の管理・手配
- ・ 来賓へのご案内
- ・ 新聞社等報道機関などへの結果通知
- ・ メダルまたはトロフィーの手配代表者会議で選手人数を確認の上、手配する。
- ・ 新規加盟団体への大会役員参加
- ・ 昼食用弁当とお茶の手配補助役員の方々については、弁当・お茶（パック）ではなく、交通費として千円を支給する。
- ・ お茶係りの依頼（代表者会議に決定）
- ・ 開会式は簡素化し、第一試合出場者のみコートに整列。
- ・ 開会式の入場誘導入場行進は行わない。開会式は、第一試合が即開始できる状態での整列を誘導する。

②大会審判長の重点業務分掌

- ・ 招待審判員及び審判員の取りまとめ、代表者会議での大会審判員一覧表の提示各コートの審判員は7コート×6名／コート＝42名枠で調整する。
- ・ 招待審判員への挨拶状ならびに出/欠席確認の発送手配（発送先をリスト化し外注）
- ・ 審判服装の事前連絡徹底審判の服装は、（公財）全日本空手道連盟が指定する服装（紺色のブレザー、灰色のズボン等）に準ずるものとし、胴着やジャージ等の服装での審判行為は認めないものとする。この事前連絡を徹底する。但し、選手が審判を兼ねてもよいものとする。
- ・ 審判の事前練習（12月19日（日）午前 秩父宮体育館1階武道室）（詳細は後日連絡）
- ・ 試合結果報告書の手配とコートへの配布
- ・ 開会式での練習用コート設置の連絡
- ・ コート周辺監督（秩序維持）の徹底
アリーナ内には、選手・役員以外の立入りは禁止とする。コートとコートの間は、当該試合に出場する選手以外の立ち入りを禁止するものとする。本件は、大会開始前の審判会議で大会審判長より各審判に伝達し徹底する。

- ・記録誤りの申し立て決裁記録誤りの申し立てがあった場合は、ラウンド内に限り、コート長が受付け、大会審判長と協議の上、大会審判長が決裁する。本件は、大会開始前の審判会議で大会審判長より各審判に伝達し徹底する。
- ・記録係による結果記録表への漢字ふりがなの記載徹底
コート長から記録係に指示し、各コートの記録係にて結果記録表へ記載する選手名のふりがな追記を行うことを、大会開始前の審判会議で大会審判長より各審判に伝達し徹底する。
- ・藤沢市空手道連盟の審判の大会終了時までの在館徹底
藤沢市空手道連盟の審判は、必ず、大会終了時まで居ることを、大会開始前の審判会議で大会審判長より各審判に伝達し徹底する。
- ・欠席届の手配と運用の徹底
欠席届を大会審判長にて手配する。また、欠席届は本部席に置いておき、事前にコート長に申し出る運用とする。
本件は、大会開始前の審判会議で大会審判長より各審判に伝達し徹底する。

- ・1コート以上はマット敷きとする。

③コート長の重点業務分掌

- ・コートでの競技統括
- ・審判員の配置（主審・副審・監査）
- ・補助競技役員の監督（招集を含む）
コート長は、補助役員にしっかりと作業を指示し、効率的なコート運営を徹底する。
- ・競技結果報告書の点検及び提出又は回付
- ・コート周辺の監督（秩序維持）
アリーナ内には、選手・役員以外の立入りは禁止とする。コートとコートの間は、当該試合に出場する選手以外の立ち入りを禁止するものとする。
- ・記録誤りの申し立て対応
記録誤りの申し立てがあった場合は、ラウンド内に限り、コート長が受付け大会審判長と協議する。
- ・結果記録表への漢字ふりがなの記載の記録係への指示
コートでの結果記録表への記載時に、選手名のふりがな追記を行って頂くことを記録係に指示する。
- ・ヘアピンの数、ゴムの色（黒、茶）のチェック
- ・先取の取り消しなど新ルール of 徹底
- ・服装は審判規定の物を着用との事、但し、規定の物が間に合わない場合は、できる限り近いものを着用のこと（白い紐靴などは不可）
- ・欠席届の確認

④参加団体の重点業務分掌

- ・申し込み（前述の「申し込み」を参照）
- ・誤りのない参加者姓名の記載

賞状への記載姓名となるので、申し込みへの参加者姓名の記載は、申し込みを提出団体で責任をもって提出する。

- ・補助役員の選出

補助役員は、各コート6名、審判長席2名、事務局に3名とし、各団体にて6名を手配する。補助役員は事務局で準備した腕章を着用するものとする。

- ・競技用具の員数チェックと結果の代表者会議への提出

競技用具は、競技用具を保管している団体にて、用具入れに同梱してあるチェック表で、員数チェックを行い、代表者会議にて大会実行委員長に提出する。

- ・審判員の選出

各団体からの審判員を「参加申込書」に資格、主審の可否、氏名を記載し、前述の申込みの締切日までに各団体から回答する。

- ・事前メール配布されたコートと試合順の選手への事前連絡

⑤事務局の重点業務分掌

- ・補助役員のネームカードホルダーストラップの手配
- ・姓名記載用テープ手配

幼年、小学1・2年生の選手は、背中に姓名をひらがなで書いた縦10cm 横20cm の白布を縫いつけて（または同等のものを付けて）参加するものとするも、万が一、忘れて来た選手の為に、事務局で同等の幅のテーピングを準備する。

- ・国旗、市旗の手配国旗、市旗は、事務局（内村先生）にて借用手配する。
- ・大会会場入りの置き靴禁止張り紙の作成と掲示大会会場の入り口には靴を置かないものとし、事務局で置き靴禁止の張り紙を作成し入り口に掲載する。
- ・各団体へのコートと試合順の事前メール配布と賞状の印刷データは外注する。

以上